

令和2年度 第6回米沢市総合計画審議会 会議録

1 日 時 令和3年2月2日(火) 14:00~15:30

2 場 所 置賜総合文化センター 203 研修室

3 出席委員

尾形健明会長、大和田浩子委員、鹿俣貴裕委員、柴田正孝委員、白石祥和委員、須藤昌志委員、須藤正彦委員、高澤由美委員、長谷川健委員、松田智博委員、吉澤彰浩委員、渡邊修一委員、以上12名

(相田哲郎委員、赤井直美委員、小関洋子委員、佐藤和子委員、清野雅好委員は欠席)

事務局

市長、副市長、総務部長、企画調整部長、市民環境部長、産業部長、建設部長、会計管理者、上下水道部長、市病事務局長、教育管理部長、教育指導部長、社会福祉課長

(議会事務局長欠席、健康福祉部長欠席により社会福祉課長代理出席)

総合政策課 課長、課長補佐、企画調整主査、担当

4 会議録

(1) 開会

(2) 会長あいさつ(要旨)

会 長 皆様こんにちは。本日はいよいよ答申をする日を迎えた。これまで皆様から様々な御意見をいただき立派な答申案ができたと思う。後期基本計画に関しては今日が最後の日となるので、後ほど順番に一言ずついただきたい。

(3) 議 事(要旨)

事務局 規定に従い、これからの審議について、尾形会長に議長をお願いしたい。

会 長 それでは、議事に入る。本日の会議については、15時半までには終了したいと考えているため、委員の皆様の協力をお願いする。答申(案)について、事務局から説明願う。

事務局 答申(案)について資料1から4に基づき説明。

会 長 米沢市まちづくり総合計画後期基本計画(案)に関しては、一旦このまま委員の皆様にご承認いただき、万一不足等があれば、今後策定する実施計画に反映してもらおう方向で進めたいと思うが、何か大きな誤り等はあるか。

委 員 資料4の119ページ1将来の人口の見通しで、平成32年と表記されているが令和に修正した方がいいのではないか。

事務局 この文章は、参考資料として以前の総合計画から抜粋したものであるため、平成のままとなっている。

委 員 資料4の55ページに「文化芸術」という記載があり、前期基本計画では「芸術文化」という表記だったと思うが、変えた理由は。

教育管理部長 教育委員会で策定している「教育振興基本計画」と表現を合わせた。「芸術文化」だと芸術の印象が強くなってしまうので、文化全体を表し、その中で芸術を含んでいるといった表現の方が適切だと考え、「文化芸術」と改めた。

会 長 では、この原案につきまして、答申の正案として市長に答申することで、御異

議ないか。

委員 (異議なし)

会長 では、この内容で市長に渡す答申の成案とし、議事を終了する。続いて冒頭でお願いしたように、委員の皆様から一言ずついただきたい。

委員 後期基本計画(案)の策定に当たり、第3章施策3-1で、これまでなかった食生活の改善を一つの柱として新たに取り組んでいくと明記されたことが良かったと思う。今は人生100年時代と言われており、誰もが少しでも長く健康で過ごしたいと願っていると思う。その中で、食生活の改善は重要なポイントだと考えられる。さらに米沢市では、健康長寿日本一を目指して様々な取組が行われている。その一環として米沢栄養大学では中学生を対象とした減塩教育や、企業を対象とした適塩教室に取り組んでいる。市民の健康で豊かな生活に貢献できるよう引き続き取り組んでいきたい。

委員 数値目標がたくさん記載されていることが良かった。数値目標を達成できるように取り組んでもらいたい。コロナ禍の中で、果たして現実的に達成できるのか疑問が生じる項目もあり、5年間という長さを考えると難しい部分もあると思う。まちづくりということで、出生率が下がり子どもが減っている中で、米沢市だけが人口が増えていくのは夢物語だと思う。しかしながら人口減少に対して取り組んでいかなければ、消滅してしまうと思うので、私も市民の立場からしっかり取り組んでいきたい。

委員 我々はこの基本計画の策定に携わっているから分かるが、市民の中には基本計画を知らない方も多と思う。一人でも多くの市民が、この計画を知って一丸となり、米沢市の発展に向け推進していければ良いと思う。また、将来像に学園都市という記載があるが、他県から来た学生の中には、新型コロナウイルスや大雪の影響等で精神的に健康を損なっている人もいると聞いている。学生の定着のためにも、米沢の人の優しさや温かさを感じる機会が少なくなっていると思うので、少しでも学生に寄り添える取組を進めて欲しい。新型コロナの影響で、今まで情熱を注いでいたことができなくなり、光が当たらず我慢している若者がいると思うので、そういった面も含め、今後とも子どもや若者を一人一人大切にしていって欲しい。

委員 コロナ禍の中で、テレワークがキーワードとなっている。市役所でもやってみてはどうかと提案していたが、実証実験を始めていると聞き驚いている。こんなに早くこの言葉が定着するとは思わなかった。また、パブリック・コメントの資料を各コミュニティセンターでも設置しているが、この度の計画(案)に対して、意見提出者が35名、提出件数が108件あったというのは驚きとともに大変嬉しく思う。それだけ市民の方がこの計画に対して期待しているのだと思う。羅針盤となる後期基本計画に基づき実施計画が策定されると思うが、携わった一員としてコミセンの立場から協力していきたい。

委員 この度のパブリック・コメントの実施時期に、小学生が地域の行政について学ぶ授業が行われた。SDGsが教科書にも出てきており、これからの米沢を例に示しながら進めたところだ。子ども達がこれからも米沢に定住するために、教育

の現場でも米沢の良いところを示していかなければならないと感じている。小学3年生から「私たちの米沢市」という学習が始まるのだが、米沢ブランド戦略にあるように、米沢で作られているものも含め、このまちは素晴らしいと思う心を育てていく機会を作らなければいけないと思う。また、子ども達から米沢には遊ぶところがない、家族と一緒に楽しめる魅力ある施設があればいいという声を聞く。そのため、都会に目がいってしまう傾向があるのではないかと思う。

一方、米沢市の公共施設をみると、改修が必要な部分が多いと思う。新しい施設を建てるのは難しいと思うので、今ある施設を少しずつ改修しながら、そういった声にも答える必要があると思う。また昨年秋に実施したオクトーバーラン&ウォークでは、日本一に輝いた実績もあるので、そういう小さなところから、健康長寿日本一を目指していきたい。

委員 審議会に携わる中で、米沢市民として地域の抱える様々な課題と行政の取組がこのように審議されていることを初めて認識した。一番に感じたのは、少子化による人口減少が大きな問題であり、色々なところに影響を与えているということだ。私は、芸術文化関係の面から意見を述べようとしたが、なかなか思うようにいかなかった。一昨年までは高校生や大学生から色々な意見を聞いたので、いい刺激を受けていた。しかし昨年は新型コロナの影響で、様々な企画イベント等が中止となり生活が一変した。その中で私にとって一つの光となったのが、障がいのある人と関わる人の作品展を見て衝撃を受けたことだ。人間は色々な可能性を秘めているということを改めて実感した。今後も、これからの米沢を担う若者達を見守る生き方を考えていきたい。

委員 コロナ禍で、かつ世の中が目まぐるしく変わり、今日決めたことが明日は通用しなくなることもある中、後期5年間の方向性を示しつつ計画を立てるのは大変だったと思う。計画はあくまでも計画なので、紙面にして終わりではなく、いかに実行に移していくかが非常に大切だ。そこで一つ要望なのだが、これから様々な事が起こると思うが、出てきた事案に対してその都度対処するという受け身の運用ではなく、是非このまちをこうしたいという積極的な強い意志を持ったまちづくり総合計画であって欲しい。施策4-2で秩序ある土地利用と景観形成とあるが、昨今のニュースで米沢市街地の老舗百貨店のことをやっていた。民間企業が進める行為に行政が立ち入るのは越権行為となる可能性もあり、難しいところではあるが、市として明確な意思が目に見えるよう、まちづくりに取り組んで欲しい。コロナ禍でも、立地適正化計画や中心市街地活性化等々の計画もあるので、それらがきちんと形になればいいと思う。

委員 感想というより要望を述べさせてもらう。総論である基本計画に基づき、これから各担当部署で具体的に政策や手法等を決めると思うが、それぞれが、総合計画の記載と関連していることを、市民の皆様にも分かりやすく市報等で示して欲しい。もう一つは、皆様と同じく人口減少の問題だ。人がいなければせっかく計画を立てても実行できない部分が出てきたり、まちづくりの方向性も見えてこなかったりするのではないか。後期重点事業では、人口減少対策をテーマに挙げていたと思うが、結婚・出産・子育てに重点を置き、せめて人口が維持できるよう

に、子どもを産み育てやすい環境づくりを進めていって欲しいと思う。

委員 自治体の計画なので、国の政策に準じるのは当然であるが、問題の本質に国よりも正面から向き合っている計画に仕上がったと思う。各委員の意見も十分に盛り込んでいただき感謝申し上げます。実施計画もしっかりと立ててもらいたい。

委員 基本計画策定中に、まさか世の中が一変するとは想像もしなかった。このような中でも、市の最上位計画として、これからの米沢市のビジョンを示す基盤のしっかりした計画となった。今後実施計画を立てるわけだが、社会の変化にも迅速に対応できるようなきめ細かな事業を実施して欲しい。また、市民の方に知ってもらうのが重要だ。私も授業等で山形大学の学生に周知して、学生自身が主体的にまちづくりに関わっていくような手伝いができればと思う。

委員 12項目記載されている後期重点事業では、後期基本計画のコンテンツがきちんと網羅されていると思う。特に、SDGsへの具体的な取組、関係人口増加への取組、コンパクトながらもネットワークを活用した強靱なまちづくり、米沢のブランディング等が盛り込まれて、前期とは違う新たな計画になったと思う。しかし、皆様も思っているように、新型コロナの影響で様態が変化している。教育・社会・産業・観光全てにおいて数字通りにいかない現状だ。5年間の基本計画では難しいと思うが、実施計画で柔軟に腰を入れて取り組まなければならないと思う。皆様もご覧になられたかと思うが、1/28付け山形新聞の社説に、米沢市は住民基本台帳の人数が8万人を切るなど、大学もたくさんありながら、若者の流出が止められないことへの疑問符が投げかけられていた。そのうえで、学園都市と掲げた総合計画に期待すると書かれていた。社説で取り上げられるということは、それだけ世間から注目を集めているということだ。我々は重責を担っているということに改めて感じた。これからも一市民としてきちんと関わっていかなければならないと思う。

会長 山形大学で約40年間勤務していた者として、総合計画には学園都市という言葉はどうしても入れたかった。というのも、米沢モデル、米沢ならではの特色を活かした計画にしようと思ったからだ。そこで思い浮かんだのは、人口の約5%を占める学生の存在で、学園都市であることを是非活かしたい、まちづくりを一緒にやっていきたいと思った。計画本文では、学園都市が見えにくくなってはいるが、皆様の思いとして大学を活用していきたいという気持ちは十分表れていると思う。実施計画では、是非大学の活用等について盛り込んでもらえれば良いと思う。科学技術は今、人、自然、地球にやさしいというように、まさにSDGsに関わるような方向にシフトしようとしている。米沢市の総合計画もそれに沿った形でやって欲しい。我々は今日で最後だが、今後も計画が実現できているか見守っていく役目があるかと思うので、これからも意見等をお願いしたい。もう一点は、今後5年の間に状況が変わった場合、基本計画に載っていないからやらないということがないように柔軟な対応をお願いしたい。それから、この計画を米沢モデルとして学問にも活かして欲しい。最後に、委員、事務局の皆様へ感謝の気持ちを伝えたい。

事務局 それでは、これより答申を行う。市長と会長は前へお願いする。

会 長 (答申書添書を読み上げ)

米沢市まちづくり総合計画の基本計画の改定について (答申)

令和元年 8 月 21 日付けで諮問のありました米沢市まちづくり総合計画の基本計画の改定について、慎重に審議を重ね、後期基本計画として別冊のとおり取りまとめましたので答申します。

(会長より市長へ答申書を渡す。)

事務局 会長より答申の言葉をお願いします。

会 長 (以下答申時挨拶原文まま)

本審議会は、令和元年 8 月に米沢市まちづくり総合計画の基本計画改定について諮問を受けて以来、書面協議も含め合計 10 回にわたり慎重に審議を重ねてまいりました。本日、その取りまとめを終え、答申いたします。

「ひとが輝き 創造し続ける 学園都市 米沢」を将来像とする米沢市まちづくり総合計画を策定してから、5 年が経過しました。その間、少子高齢化とともに人口減少には歯止めがかからない状況です。また、頻発する自然災害に加え、新たに新型コロナウイルス感染症の脅威にさらされています。さらには、国連で採択された SDGs (持続可能な開発目標) 達成に向けた機運の高まり、政府が提唱する Society5.0 実現に向けた動きなど、これまでにないスピードで社会は大きく変容しています。本日、答申する後期基本計画は、これら目まぐるしく変化する社会情勢の中にあっても、本市の揺るぎない指針になるものと確信しております。

本審議会での審議に当たり、人口減少対策については、委員全員が強い危機感を共有し、子育て支援、婚活・若者支援、さらには移住・定住・交流の促進について、何度も熱い議論が交わされました。そして、人口減少を緩やかにするための取組を推進することはもとより、人口減少が進んでも、市民一人ひとりの幸福度を最大限に高め、住んでいて良かった、住み続けたいと思えるようなまちをつくり上げていく必要があるとの結論に至りました。そうした議論は、後期重点事業を束ねるテーマとして人口減少社会への対応を掲げるなど、計画の様々な部分に反映されています。

もう一つ、審議会での大きな課題としてあげられたのは、世界的な新型コロナウイルス感染症の流行への対応です。本審議会では、新型コロナウイルス感染症が本市にもたらす影響をはじめ、市民が安心して暮らせるまちはどうあるべきかなどの議論を尽くし、計画内容に盛り込むことができました。

しかし、未だ感染の収束が見通せない状況でありますので、今後も感染状況を注視され、不測の事態が起きた場合は、迅速かつ適切な対応をお願いいたします。本市の大きな強みの一つは、山形大学工学部、山形県立米沢栄養大学及び山形県立米沢女子短期大学という 3 つの高等教育機関を抱える学園都市であることです。今後も、学園都市に集積された知識・技術、研究・開発機能、人材等を最大限に活用し、市民や企業、団体などが、互いに連携し、知恵を出し合いながら「ひとが輝き創造し続ける学園都市・米沢」を目指していくことが重要であると考えます。この計画を着実に推進され、将来にわたって活力に溢れ、持続可能な米沢市

を築き上げてください。

会長代理の柴田正孝委員をはじめとする委員の皆様には、大変お忙しい中、長期間にわたり丁寧な議論を尽くしていただきました。心より感謝申し上げます。また、事務局の皆様をはじめ、本計画の策定に関わった多くの関係者の皆様にも厚く御礼申し上げます。

本市の更なる発展を願い、答申のことばといたします。

事務局 続いて市長から挨拶を申し上げる。

市長 それでは一言御礼を申し上げる。只今、令和元年8月に諮問した米沢市まちづくり総合計画基本計画の改定について答申をいただいた。素晴らしい答申をいただいたと大変ありがたく思う。そして、答申に関わった委員の皆様から、先程答申に対する思いも聞かせていただいた。それぞれの立場で、これからの米沢市の総合計画に携わっていただいたので、しっかりと実現をしていく責務を負うと感じている。

現在、米沢市が掲げている重要な方向性として二つの取組がある。一つ目は、乳幼児から高齢者まで、米沢に住んでいて良かった感じられる明るく元気に生活できる環境づくりだ。行政の一番の使命だと思い、健康長寿日本一に向け様々な取組を進め、米沢市で市民皆が自己実現をしてもらいたいと思っている。もう一つは、米沢ブランド戦略だ。米沢市は県内でも有数の地域資源を持っていると思う。その資源をもっと磨き上げていく、モノ・ヒト・コト全てをブランド化していくことが重要であり、そのことは市民総参加のまちづくりにつながっていくと思う。こういった二つの大きな方向性がある中で、後期基本計画についてもこの中に全て当てはまると思う。先程の皆様の思いも全てこの二つに網羅されていると思うので、今後しっかりと取り組んでいきたい。

また、米沢市の内発的なものにしっかりと取り組みながら、今度は外部からの色々な課題に対応することも重要だ。コロナ禍の中で、デジタル化が大きな国の課題として浮かび上がってきた。そして、地方都市でどのように活用していくかを新たな取組として検討していかなければならない。さらに、自然災害等が頻発に起きる社会にあって、その要因の一つであるCO₂を削減していく必要があると考え、本市ではゼロカーボンシティを一早く宣言した。今後、排出量の削減に加え、米沢の豊かな自然をCO₂の吸収に活かしていきたいと思う。さらに、これからは持続可能な開発目標に対し、米沢版のSDGsを進めていかなければならない。先程会長から、米沢ならではの特色を活かすという話があったが、SDGsの先駆けは、上杉鷹山公であるという研究がPHP研究所で進められている。鷹山公は、米沢織の職人を招聘するといった企業誘致や、米沢織を含めた産業振興、そして福祉分野においても高齢の方への慰労等にとしっかりと取り組んでいたようだ。また、地域社会にとって何より重要なのは人財の育成だと思うが、鷹山公は、それについても藩校である興譲館の中で、武士だけでなく広く市民へ教育の場を与え、人財の育成に努めた。そういった歴史を持っているのが米沢であり、我々は、それを踏まえ次の世代に持続可能なまちとして残していくということが問われてくると思う。話が長くなってしまったが、今日答申いただいた内容を実施計

画等に反映させながら皆様方のこれまでの御苦勞に報いていきたいと思う。どうか今後とも、きちんと実行しているのかも含め、担当課にもお話しいただきたい。皆様と一緒に、健康長寿日本一やブランド戦略、SDGs等も含め市民総参加のまちづくりを進めていきたいと考えているので、これからもそういった方向性を示しながら米沢のまちづくりにあたっていきたいと思う。答申について、心からの御礼も兼ねてご挨拶とする。委員の皆様には、長期間にわたり審議いただき大変感謝する。今後ともよろしく願います。

司 会 委員の皆様にはこれまで1年半の長きにわたり出席いただき、貴重な御意見をいただき感謝する。皆様に審議いただいた総合計画について、今後着実に実行していきたい。

これをもって、総合計画審議会の全日程を終了する。